

競技注意事項

1 競技規則について

本大会規則は、2024年（財）日本陸上競技連盟と本大会要項、申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は陸上競技場マラソンゲート（100mスタート側）の外側に設ける。
- (2) 招集は棒高跳を除く全ての競技において招集所で行う。トラック種目は25分前に開始し、15分前に終了する。フィールド種目は50分前に開始し、40分前に終了する。招集所は、100mスタート付近とする。その後、競技スタート位置へ各自で移動する。
※棒高跳については競技場所現地にて招集を行う。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは岐阜陸上協会指定の競技規定に基づくものとする。不備なものは失格もあり得る。
- (2) アスリートビブスはユニフォームの胸・背にそのままの大きさで付けること。ただし、跳躍種目は胸・背いずれかに付けるだけでよい。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン・オーダー順及びフィールド競技の試技順は番号の順とする。
- (2) スパイクのピンは、9mm以下を使用する。ただし、フィールド競技の走高跳は12mm以下を使用する。
- (3) トラック種目のシューズの靴底の厚さについては、800m未満の距離の種目は20mm、800m以上の種目は25mm以下とする。フィールド種目の靴底の厚さは20mm以下とする。
- (4) 1500mを除くトラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名をもって決勝を行う。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録（1000分の1）があり、レーン数が不足するときは抽選を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合すること。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像およびホームページにて掲示する。
- (5) 1500mの予選はタイムレースとし、決勝は12名で行う。
- (6) 800m予選・1500m予選・決勝及び3000m決勝は、レーンを割り当てないので、スタートは十分注意すること。
- (7) 3000m決勝において、着順6位において同記録（1000分の1）があるときは抽選を行う。抽選は、本部が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合すること。
- (8) スタートの合図は英語とする。（「オン・ユア・マークス セット」）
- (9) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
- (10) 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
- (11) リレー出場校は、リレーオーダー用紙を招集完了時刻の1時間前に招集所に提出すること。オーダー用紙が時間どおり提出されない学校は棄権とみなす。
- (12) 棒高跳をのぞくフィールド種目は1日目に予選を行い、予選記録上位12名により2日目に決勝を行う。
- (13) フィールド競技の計測は次の通りとする。

走高跳	男子：練習 1m40 1m45-1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-以降 3cm ずつ 女子：練習 1m25 1m30-1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-以降 3cm ずつ
棒高跳	男子：練習 任意の高さ 2m40-2m60-2m80-3m00-3m20-3m40-3m60-以降 10cm ずつ 女子：練習 任意の高さ 1m60-1m80-2m00-2m20-2m40-2m60-2m80-以降 10cm ずつ
走幅跳	男子：5m20 女子：4m20
砲丸投	男子：8m20 女子：8m20
円盤投	男子：15m00 女子：10m00

※ただし、気象条件等により審判長の判断で変更することがある。

5 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。
- (2) ポールは跳躍場において審判員が検査する。砲丸、円盤は、競技場所において審判員が検査する。

6 ユニフォームについて

- (1) 参加する所属団体名またはロゴの入ったユニフォームや体操服で参加すること。エントリーした団体名以外の団体名またはロゴのユニフォームや体操服で参加してはならない。
※団体名やロゴのないユニフォームでの参加はできる。
- (2) リレーにおいては、審判員が同一系と判断できるユニフォーム（メンバーのシャツ同色、パンツ同色）を着用する。これは、ユニフォームの型を示すものではない。

7 表彰について

決勝終了後、8位までの入賞者には賞状を授与するため、役員の指示に従って本部に集合すること。
3位までは表彰を行う。服装は、迷惑撮影・盗撮防止の観点から、競技用ユニフォームを避けること。

8 東海大会について

東海大会への出場権は、本大会6位（6名、6チーム）に出場権を与える。繰り上げも有り得る。
東海大会については、東海大会受付にて出場権のある全ての選手の参加意志の確認をする。出場権を得た6位までの選手は表彰後に受付に来ること。

9 全国大会について

全国大会は、①個人種目は、参加標準記録突破者、②リレー種目は、通信陸上大会（※中体連参加可能団体の中の決勝最上位チーム）と本大会の優勝チームのうち、予選記録と決勝記録を合わせ、記録のよいチームに出場権を与える。全国大会参加の標準記録に達した選手は、直ちに本部TIC（ロビー）にて申し込み手続きの確認をすること。

10 その他

- (1) 結果発表はアナウンスおよび大型映像装置で行い、発表後Webに掲載する。
- (2) 傷害事故発生のときは、当時の手当は本部で行うが以後の責任は負わない。
- (3) 審判、補助員、競技者以外の競技場内への入場は禁止とする。競技を終えた競技者は最寄りのゲートより競技場外へ出ること。
- (4) 控席等の清掃には十分気を遣い、ゴミ、カン、ペットボトルは必ず持ち帰ること。
- (5) プログラムの訂正は、8：30までに所定の用紙（巻末）に必要事項を記入して、本部に提出すること。
- (6) 競技の結果、または競技実施に関する抗議は、競技規則TR8に従い、定められた時間内にTICを通じて、審判長に申し出る。
- (7) 開閉会式は、放送にて行う。
- (8) 本競技場での練習は8：30までとする。

(9) 競技者の個人情報保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影については、以下の通りにする。

- ①報道関係はTICにて撮影許可を取り、専用のビブスを着用し、定められた場所から撮影する。競技役員が身分証明書などの提示をお願いすることがある。
- ②競技者の保護者及び本人の同意のない撮影は禁止とする。
- ③ビデオカメラ、デジタルカメラ、一眼レフカメラなどは許可を得た報道関係者以外は使用してはならない。
- ④盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者が不快や不安を感じる恐れのあるすべての方向からの撮影は禁止する。
- ⑤競技大会では「撮影禁止エリア・内容」を設定している。禁止エリアでの撮影は一切禁止とする。

【撮影禁止エリアと競技内容】

- ・サイドスタンドからのスタートや走幅跳の撮影
- ・トラック種目のスタート時および準備動作中 → 前方・後方からの撮影
- ・トラック種目のフィニッシュ時 → 前方からの撮影
- ・走高跳 → 正面（クリアランス動作）からの撮影
- ・棒高跳、走幅跳→ マットや砂場前方および助走後方からの撮影
- ・砲丸投 → 競技者正面からの撮影

⑥競技中のフラッシュを使用しての撮影を禁止する。

⑦撮影の仕方が不自然な場合や盗撮が疑われる場合は、競技役員が撮影内容の確認をする場合がある。

⑧盗撮行為を発見された場合、お近くの競技役員まで知らせる。また、発見次第、記録媒体没収のうえ、所轄警察署に通報する。

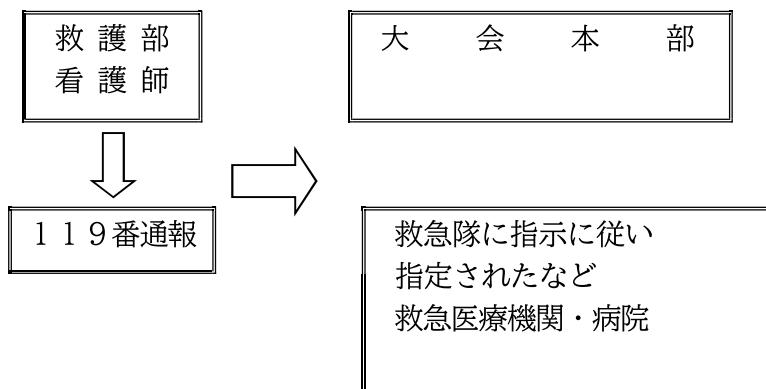
⑨その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により競技会当日も含め変更する場合がある。その際は競技役員の指示に従うこと。

令和6年度 県中総体 開催にあたっての救急医療に関すること

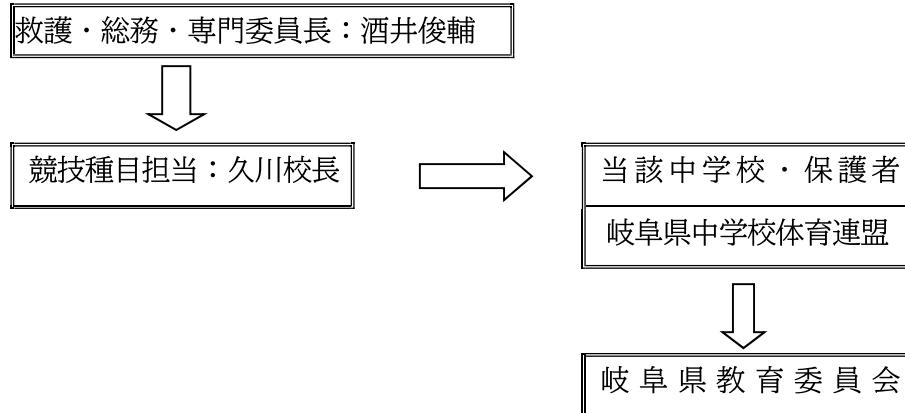
傷病事故発生時の緊急体制について

☆傷病事故が発生した時には、速やかにその状況を各関係者（県中体連・責任者・保護者）に報告し緊急連絡を取ること。（重傷、生死に関わる事故等について）

1, 救急処置について



2, 傷病事故報告について



3, 注意事項

(1) 救急車を依頼する場合の注意事項

- ア 救急車を依頼する場合は、まず患者の所在場所と症状を的確に連絡する。
- イ 救急車には、大会関係者または顧問、保護者等を同行させる。

ウ 大会本部へ必ず一報を入れる。その後、詳細を連絡する。

- (2) 万が一事故等発生した場合には、窓口を一つにして対応すること。

(競技種目専門部長・県中体連会長)

- (3) 事故発生時に関わる正確な報告文書を作成すること。（経過等含）